

## 患者さんへ

### 「胆嚢摘出術後の胆汁漏に対するドレナージ術の検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合は、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

#### 1. 研究の対象

2014年4月から2022年3月に当院消化器病センターで胆嚢摘出術後の胆汁漏に対して内視鏡的ドレナージ術を行った方

#### 2. 研究目的・方法

胆汁漏合併例に対する内視鏡的ドレナージ術についてドレナージ方法及び臨床経過を検討することにより、将来の患者さんの負担軽減に寄与することが期待されます。

該当する患者さんを研究対象者として登録し、登録時以降「4. 研究に用いる情報の種類」に記載の臨床情報を診療録より取得します。

研究期間施設院長承認後 ～ 2024年3月

#### 3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

#### 4. 研究に用いる情報の種類

- ① 患者背景（年齢、性別、既往歴、家族歴、内服薬）
- ② 病歴情報（原疾患、診断に至った経緯、治療法）
- ③ 内視鏡的ドレナージ術の方法及びドレナージ後の経過 など

#### 5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

塩谷健斗

湘南鎌倉総合病院消化器病センター

神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話 0467-46-1717

(西暦 2022 年 9 月 5 日作成 (第 1.1 版))